

函館港檢疫消毒法施行手續

函館港ニ於テハ明治十二年第二十九號布告ノ停船法
ヲ施行セス該布告中檢疫消毒法ニ係ルモノハ左ノ各
條ニ據リ之ヲ行フモノトス

第一條

函館ハ假檢疫局

別ニ衙門ヲ設ケス支ヲ設ケ函館支廳
廳ニ別局ヲ開設ス

在勤開拓大書記官時任爲基ヲ局長トシ支廳在勤屬官
并醫員中ヨリ撰ンテ檢疫委員ヲ置ク尤モ檢疫法中疑
惑ノ慮等ハ時々東京出張所へ電報シ同所ヨリ中央衛
生會或ハ衛生局ニ質疑シ回報ヲ得テ決行スルモノト
ス
第二條
コレヲ病患者ヲ容ルヘキ避病院及消毒所ヲ亀田村臺
町ニ設ク

30

開拓使

但從前設立ノモノヲ以テ之ニ充ツベシ

第三條

入港船舶検査ノ爲ノ便宜ノ場所ニ流船卒未凡ヲ繫キ
船舶入港スル毎ニ検査官吏醫員將舟ニテ該船へ乗込
ミ出港并ニ經過セル地方及ニ病者ノ有無ヲ問ヒ所定
ノ式紙ニ事項ヲ記入シ其氏名ヲ記シタル明告書ヲ出
カシム尤ニ病者アル等時機ニ依リ検査停船規則第四
條中第二第三項ノ手續キ爲スヲアルヘシ且病者死亡
アル船ハ港門ヲ避ケ適宜ノ地ニ泊ヒシム

第四條

船舶來着ノ上港外ニテ消毒法ヲ行ヒシ上速ニ入港及
ヒ上陸ヲ許スヘシ一般ノ積荷ハ消毒法ヲ施スニ及ハ
ス船客ノ手荷等ハ検査官吏ノ見込ヲ以テ消毒法ヲ行

ヒ或ハ行ハサルベシト雖モ爛布古衣夜具ハ勿論其他
検査官吏ニ於テ殊ニ危険ナリト見込ムモノハ消毒法
ヲ行フベシ

但シ消毒法ハ西洋形ハ本船内適宜ノ室ニ就キ日本
形船ハ艀舟中ニ適宜ノ室ヲ設ケ海上ニテ施行スル
トアルベシ

第五條

軍艦ハ其艦長又ハ醫官ニテ記名セル書面ヲ以テ前條
ノ趣ヲ明告スル迄ニテ足レリトスヘシ但明告書ハ入
港投錨ノ上用紙ヲ出シ書入シム若シ之ヲ拒ミ入港ス
ルトモ検査規則ニ從ハシムベカラズ軍艦中若シ患者
或ハ死者アリシトキハ船將若シ患者ヲ避病院ニ入レ
及消毒法施行ヲ拒ミ本艦ニテ之ヲ為スヘキ旨ヲ申立

ルトキハ本船ニテ療養消毒法等一切引請ヘキ旨ヲ記シタル書面ヲ出サシメ之ヲ許可ス

第六條

有病ノ港又ハ其疑アル港ヨリ来ル軍艦ハ其艦長及ヒ醫官ヨリ書面ヲ以テ該艦来港前七日以内艦内ノ者有病ノ港ニ上陸セシテ無ク又ハ病毒感染ノ恐ナク且航海中艦内ニ眞性虎列刺病又ハ疑似症ヲ發セシテ無キ旨ヲ明告スルルハ直ニ入港スルヲ得ヘシ

第七條

船舶来港ノ上其船内ニ眞性虎列刺病若クハ疑似症ヲ發スル者アルハ患者ヲ避病院ニ送り該船ハ消毒法ヲ行フヘシ

第八條

前條ニ記スルカ如キ船舶ノ来著スルニ方リ其乗組ノ患者未タ癒エサレハ其容体ニ依リ之ヲ避病院ニ移シ若シ已ニ死シテ遺骸ノ處置未タ済マサルハ其爲ノニ設ケタル場所ニ於テ火葬スルカ又ハ其関係アル者ノ望ミニ任セテ十分消毒法ヲ行ヒシ後埋葬スヘシ患者及遺骸ヲ船中ヨリ他ニ移シタル後夜具衣類其他ノ物品及ビ船内何レノ部分ニテモ病毒感染ノ恐アル者ハ消毒法ヲ施スヘシ而シテ消毒法ヲ施ス爲メ要用ノ人ト船中ヲ取締ルヘキ人トノ外都テ船内ノ人員ハ其人ノ爲メ特ニ設クル所ノ家屋ニ移シ消毒法ヲ行フヘシ船内ニ残りタル人員ハ船内ニテ消毒法ヲ受クルカ又ハ交代シテ陸上ニアル適當ノ家屋ニ於テ之ヲ受ヘシ

第九條

有病ノ港或ハ其疑アル港ヨリ出帆シ途中ノ港ヲ經ル
ト雖モ其港ニ於テ檢疫處置ヲ受ケル船舶ハ直ニ有病
ノ港又ハ其疑アル港ヨリ來ルモノト認メ處置スヘシ

第十條

病院ニ入ル患者ハ治療及必要品ヲ受ケルヲ得ヘシ
病院或ハ停泊ノ船内ニ在ル患者ヲ尋訪セント欲スル
人ハ檢疫局ニ於テ定タル方法ニ從ハシムヘシ避病院
ニ關係ナキモ醫業ニ達シタル醫士患者又ハ其代理人
ノ請ニ由テ診察協議スルヲ請フトキハ之ヲ許ス患
者ハ醫士ヨリ退院ヲ許ス迄ハ病院ヲ退去スルヲ得
ス

第十一條

入港船舶ニ於テ檢疫官吏之ヲ虎列刺ノ原因ナラント
思考スル疑似ノ病徴ヲ發スル者アルトモハ其患者ハ
病院ノ別室ニ移醫員ニ於テ其病症ヲ審斷スルニ充分
ノ時間ヲ了ル迄停留セシムベシ但シ其時間ハ四十八
時間ニ過クベカラズ而シ醫員ノ報告ニ依リ適當ニ此
規則施行スベシ

第十二條

有病ノ港又ハ其疑アル港ヲ發シ船用品或ハ荷物積込
ノ為ニ途中檢疫所ノ設ケアル無病一港ニ立寄タル
船舶ハ豫メ檢疫官吏ノ検査ヲ經且ツ必要ト認メタル
消毒法ヲ行ヒ船用品或ハ貨物ヲ積入ル、毎ニ檢疫局
ヨリ指示スル方法ニ從ハシム可シ

又該船内ニ真性虎列刺病若クハ疑似症ヲ發シタル片

ハ該船又ハ其乗込人及ヒ物品ヲ處置スルハ第七條第八條ニ準スヘシ

第十三條

船舶ノ検査ハ其来着後成ルヘク速ニ施行スヘシ若シ来着後十二時間ヲ過キテ検査ヲナサ、ル時ハ入港スルヲ得ヘシ但シ其遲延天氣悪キカ為メカ又ハ避難キ事情アルカ為メカ又ハ船長若クハ該船ニ關係アル人ノ所行或ハ詐偽ニ出ワルカノキハ此限ニアラス其場合ニ於テハ其遲延シタル事故終リタル并検査ヲ為スヘシ

第十四條

地方検査局ヨリ指圖シタル消毒法ハ検査官吏之レヲ施行シ其船ノ士官及ヒ船員ヲシテ之ヲ補助セシムヘシ

シ但消毒法ハ之ヲ命シタル時ヨリ成ルヘク二十四時間ニ完了シ而シテ其入費ハ船主又ハ其責アル者ヨリ辨償スヘシ

第十五條

港内ニ碇泊中船内ニ真性虎列刺病又ハ疑似症ヲ發シタル船舶ハ直ニ第七條第八條ノ規則ニ從ヒ再ヒ消毒法ヲ施スヘシ

第十六條

前條ノ規則ヲ施行スルニ就テ其人ニ係ル所ノ食料醫藥其他欠クヘカラサル費用ハ其本人又ハ代理人ヨリ辨償スヘシ

第十七條

検査停船規則第二十三條第一項ノ犯者ハ成例ニ據リ

加賀守
長官書面正印

書記長

記録係

乙未九月二十一日

西村貞陽根室千島園

當使三善山佐西村貞陽義佛用有之根室

千島園之山張り去レテ義佛用有之根室

千島園之山張り去レテ義佛用有之根室

乙未九月二十一日

乙未九月二十一日

開拓長官黒田清隆